

## 第39回大崎上島町公共交通連携協議会 議事要旨

### 【開催概要】

会議名 第39回大崎上島町公共交通連携協議会  
 日 時 令和5年11月13日(月) 13時30分～14時30分  
 場 所 大崎上島町役場本庁 2階大会議室  
 出席者 15名

| 団体名          | 職名等       | 氏 名       | 出席者         |
|--------------|-----------|-----------|-------------|
| 広島商船高等専門学校   | 流通情報工学科教授 | 岡山正人(議長)  | ○           |
| さんようバス株式会社   | 代表取締役社長   | 土井俊斉      | 欠席          |
| さんようバス株式会社   | 従業員代表     | 佐村 優      | ○           |
| 尾道地区旅客船協会    | 事務局長      | 柳井裕志      | ○           |
| 山陽商船株式会社     | 代表取締役専務   | 日浦徹治      | ○           |
| 大崎汽船株式会社     | 代表取締役     | 川本公夫      | ○           |
| 大崎上島町議会      | 議長        | 信谷俊樹      | 欠席          |
| 大崎上島町連合区長会   | 副会長       | 山田泰三      | ○           |
| 大崎上島交通問題協議会  | 会長        | 閑田大祐      | ○           |
| 大崎上島町商工会     | 副会長       | 信谷 裕      | 欠席          |
| 大崎上島町社会福祉協議会 | 会長        | 有田卓也      | ○           |
| 大崎上島町地域女性連合会 | 会長        | 田房明美      | ○           |
| 大崎上島町観光協会    | 会長        | 中原幸太(副会長) | ○           |
| 中国運輸局尾道海事事務所 | 首席運輸企画専門官 | 築山泉美      | 欠席          |
| 中国運輸局広島運輸支局  | 首席運輸企画専門官 | 中井孝司      | 欠席          |
| 広島県地域政策局     | 交通対策担当課長  | 藤井 剛      | ○(代理 河越信二郎) |
| 竹原警察署        | 大崎上島分庁舎長  | 稲田雅之      | ○           |
| 大崎上島町        | 副町長       | 小田 博(会長)  | ○           |
| 大崎上島町        | 地域経営課長    | 坂田 誠      | ○           |
| 大崎上島町        | 建設課長      | 藤原通伸      | ○           |

傍聴者 無し

### 【議 事】

#### 1. 開 会

<事務局より、開会宣言>

## 2. 議 題

### (1) 協議事項

#### ① デマンド交通実証運行の実施について

|     |                                                                            |
|-----|----------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | <資料説明>                                                                     |
| 議 長 | ただいまの説明についてご意見、ご質問等がございましたらよろしくお願いします。                                     |
| 委 員 | デマンドという呼称は日本語にするとどうなりますか。                                                  |
| 事務局 | 「予約型」という意味になります。広報紙やポスターではわかりやすく「予約型」と記載します。広島運輸支局への申請では「デマンド型」と記載しています。   |
| 委 員 | 高齢者が多いので、「予約型」と入れた方が良いと思いました。                                              |
| 事務局 | 広報媒体はわかりやすい表記にさせていただきます。                                                   |
| 委 員 | 運賃についてですが、おと姫バスでは大人が100円で、障害者手帳をお持ちの方は半額となっています。デマンドでも該当しますか。              |
| 事務局 | 定時定路線と同様に半額となります。                                                          |
| 議 長 | 他はございませんでしょうか。無いようでしたら、この内容で実証運行の実施を中国運輸局に申請するということで、ご了承いただいたことにさせていただきます。 |

#### ② 交通体系検討に向けた町民アンケート調査の実施について

|     |                                                                                                                                                            |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | <資料説明>                                                                                                                                                     |
| 議 長 | ただいまの説明についてご意見、ご質問等がございましたらよろしくお願いします。                                                                                                                     |
| 委 員 | 問5の高速船の現状、あるいは問6の高速船を運航休止する場合についてですが、高速船の寄港地周辺の住民とそうでない住民では高速船に対する認知度や関心度に違いがあると思います。地域・年齢・自家用車の有無等を踏まえて、それぞれの地域がどのような認識を持っているのかがわかるように集計・分析していただければと思います。 |
| 議 長 | ありがとうございます。高速船の港は木江側に偏っているので、そういったことを考慮した集計していただきたいというご意見でした。                                                                                              |
| 委 員 | 問4の選択肢4の意味がよくわかりません。                                                                                                                                       |
| 事務局 | 問4の選択肢は1から4までありますが、1から順に段階を変えています。現状は税金を投入していますので、それが前提ではありますが、極論として4番を設定しています。                                                                            |
| 委 員 | 問6に「仮に、高速船を運航休止する場合」とあり、それは当然その航路を走らないということを目指すと思いますが、運航事業者にとって休止は廃止前で、休止をしたら復活はなかなか難しいと思います。「運航休止」というのは航路を廃止するという意味合いがあるということでしょうか。                       |
| 事務局 | 現状、高速船の赤字補填が町の負担額で一番のネックになっています。仮に止めることになればどんなことが必要かということで、問に記載しました。<br>今後の情勢も含めて、例えば新しい技術が導入されて復活する可能性なども視野に入れて、敢えて廃止という言葉は使っていません。                       |
| 議 長 | 参考資料の負担額グラフですが、額の桁が分かりにくく、読みにくいと思います。ま                                                                                                                     |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>た負担額もちろん大事ですが、現状の利用者数、利用度合いがどのくらいなのかも見ていただければ良いのではないかと思います。</p> <p>それから問6は思い切った質問と思いました。確認ですが、選択肢2の「町の支援が必要」という箇所ですが、○を付けるだけでも良いということでしょうか。具体的に書けと言われてもなかなか難しいと思います。そうするとどちらも選択しないという懸念があります。ここは何か工夫があればと思います。</p>                                                                                                                                |
| 委 員 | <p>支援という意味の具体的なイメージがわからない。陸だと、鉄道が廃止になればバスで代替できる。海の場合はこれに代わるもののイメージがわかりません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 議 長 | <p>港の方へ来やすくするための手段を確保するというイメージかとは思いました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 委 員 | <p>問6は先ほどおっしゃったとおり、非常に回答しにくいだろうと思います。むしろ影響を受ける方々に対して「町からの特別な支援が必要だと思いますか」といった問いをイエス・ノーで回答する方が良いのではないのでしょうか。いわゆる内浦サイドの大崎・東野の方には直接の影響は無く、木江サイドの住民が主になるかと思っています。そこで、住民への公的サービスの偏りが起きても良いのかを聞くことで、「町民全体の総意として困るから支援すべきだ、すべきではない」と判断できるような設問にした方が良いのではないかと思います。</p> <p>それから、このアンケートは公共交通体系の調査となっていますが、今盛んに言われているライドシェアに関してもアンケートに盛り込むと趣旨が逸脱してしまいませんか。</p> |
| 議 長 | <p>私のイメージとして、このデマンドバスがライドシェアに近いと思います。かなり乗降ポイントも多いですし、町民の方が移動される時間帯はほぼ予約が可能なサービスになっています。</p> <p>問6について、多数決だと無くなってしまう話になり兼ねなくて、それを町の人達が享受できるか、という考えで「支援」ということを書かれたと思います。協議会として「無くなるかもしれないけど町はこんなことを考えている」ということを見せるのはすごく大事なかなと思います。もちろん回答しにくいということもあり、今委員がおっしゃったことの方が良いのかもしれませんし、代替について議論することがあっても良いかと思っています。</p>                                       |
| 委 員 | <p>ライドシェアといった新しい概念がありますが、そういったものを行政として意欲的に特区のような形で働きかけるとか、こういう方針もありますよ、といった形での取り入れ方ができないか、というのが私の言いたいことです。</p>                                                                                                                                                                                                                                       |
| 議 長 | <p>以前、私が高速船のアンケートを実施した際のことを紹介させていただきます。</p> <p>お年寄りの利用者が多く、ヒアリングをすると、まずバスに乗るのが嫌だという方が結構いました。坂道や右左に曲がる道が多いので嫌だということ、また低床バスでないので乗りにくいということ、それからフェリーに乗るときにギリギリに着くと走らないといけないといったプレッシャーがあると聞きました。多少便数が少なくとも定期的に来てくれる高速船だと、直接竹原港まで行けるのはかなりのメリットだろうと思います。こうしたことを考えながら検討する必要があります。フェリーも、足の不自由な人達のためのスペースを確保するとか、デマンドバスもフェリーとバスの乗り継ぎの時間</p>                   |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>はかなり余裕が出るとはと思いますが、例えば低床のものにするとか、そういったことも含めて何か考えられないか。このアンケートには書けなくても、デマンドバスをせっかく走らせるのですから、どこかで議論できれば良いかなと思った次第です。</p>                                                                                                                                                     |
| 事務局 | <p>ありがとうございます。問6に関しては事務局としても悩んだ末の内容になっています。先ほど委員からのご意見があったように、仮に高速船を運航休止する場合に影響を受ける方への町の支援をする必要があるか無いか、という聞き方に再考しようと思います。</p> <p>また、先ほどのライドシェアのお話もあります。新しい取組として今年度も自律航行船という自動運転の技術を今後特区も含めて動きたいというイメージです。そういったものを織り交ぜて、新しい技術も含めてご意見をいただけるような設問に移行させていただきたいのですが、いかがでしょうか。</p> |
| 委 員 | <p>自動運転の船はまだ実証段階であり、旅客を乗せて走れるような段階ではないと思います。それをこのアンケート調査の中に書く必要は無いです。むしろ、問6に、せっかく昨年度実施して今年もやろうとしているデマンド交通の文言が一切入っていない。「こういった代替を考えているが、これ以上の支援が必要でしょうか」といった書き方が分かりやすいのではないかと思います。</p>                                                                                         |
| 事務局 | <p>ありがとうございます。おっしゃるとおりで自律航行船については、現状、法律上では無人運航することは出来ません。2、3年後に出来るかといえば恐らく難しいと思います。デマンド交通に関しては充実させていって実装に向けて動きたいというイメージもあります。そういったことも考えて追記します。</p>                                                                                                                           |
| 委 員 | <p>アンケート調査ご協力のお願いでは、昨年度大きな話題になった部分にも若干触れておくべきではないでしょうか。それがあからこそ、こういうことになっている、ということがわかるようにしておくべきだと思います。</p>                                                                                                                                                                   |
| 事務局 | <p>昨年度の明石～小長航路廃止問題が今回の議論に至った部分でもありますので、記述をします。</p> <p>また、先ほどご指摘がありました参考資料についてですが、単位をわかりやすく、見やすく整理します。なお、利用者の人数等については一概に人数だけでなく車両や運賃が全て含まれており、同じような見せ方は難しいかと思いますのでこちらは検討させていただきます。</p>                                                                                        |
| 議 長 | <p>それでは、後は事務局に一任して今の議論を反映していただくということでよろしいでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                          |
| 一 同 | <p>異議無し。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |

### 3. 閉会

以 上